



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月30日

上場会社名 株式会社 帝国ホテル
コード番号 9708 URL <https://www.imperialhotel.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
四半期報告書提出予定日 2024年2月2日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3504-1111

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	39,766	25.5	3,024	460.5	3,302	103.5	3,267	80.6
2023年3月期第3四半期	31,689	45.9	539	—	1,623	—	1,808	—

(注)包括利益 2024年3月期第3四半期 3,568百万円 (88.4%) 2023年3月期第3四半期 1,893百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	27.54	—
2023年3月期第3四半期	15.25	—

(参考)EBITDA 2024年3月期第3四半期 5,180百万円 2023年3月期第3四半期 3,711百万円

(EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費)

(注)当社は、2023年10月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。

これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	63,503	42,856	67.5
2023年3月期	61,743	40,000	64.8

(参考)自己資本 2024年3月期第3四半期 42,856百万円 2023年3月期 40,000百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2024年3月期	—	4.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	4.00	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2023年10月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。

2024年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金については、株式分割の影響を考慮しております。

株式分割を考慮しない場合の2024年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金は8円となり、年間の1株当たり配当金は12円となります。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,700	20.4	2,400	589.5	2,800	69.4	2,950	51.2	24.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2024年3月期の連結業績予想における1株当たりの当期純利益については、株式分割の影響を考慮しております。

株式分割考慮前に換算した連結業績予想における1株当たりの当期純利益は49円73銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	118,800,000 株	2023年3月期	118,800,000 株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	151,976 株	2023年3月期	151,976 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	118,648,024 株	2023年3月期3Q	118,648,024 株

(注)当社は、2023年10月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。
上記の株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な物価上昇や金融引き締め等が続く中、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっているものの、各種政策の効果もあり、雇用・所得環境が改善する中で、緩やかに回復してまいりました。

このような環境下、当社グループにおきましては、宿泊については国内観光需要の増加、入国制限の緩和や円安により期待されていたインバウンド消費を的確に捉え、高品質、高付加価値の商品やサービスを提供することで売上と利益の増進に努める他、回復途上にある宴会需要の掘り起こしに注力いたしました。2024年度からは予定通り「中長期経営計画 2036」のフェーズⅡ（現 本館単独営業期間）へ移行いたします。また、サステナビリティへの取り組みとして2022年4月の上高地帝国ホテルに続き、2023年10月には帝国ホテル東京、帝国ホテル大阪においてもCO₂フリー電力を導入することで脱炭素を推進するなど、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて取り組みを進めてまいりました。

経費面におきましては、引き続き生産性向上の推進や適正なコスト管理による経費削減に努めることで利益の最大化を図ってまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同期比 25.5%増の 39,766 百万円となり、営業利益は前年同期比 460.5%増の 3,024 百万円、経常利益は前年同期比 103.5%増の 3,302 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比 80.6%増の 3,267 百万円となりました。

加えて、「中長期経営計画 2036」でも定量目標の一つにしておりますEBITDA（経常利益＋支払利息＋減価償却費）においても、前年同期比 39.6%増の 5,180 百万円となりました。

セグメントの業績におきましては、ホテル事業の売上高は前年同期比 29.5%増の 37,925 百万円、営業利益は前年同期比 341.9%増の 4,152 百万円となり、不動産賃貸事業の売上高は前年同期比 23.1%減の 1,848 百万円、営業利益は前年同期比 49.2%減の 512 百万円となりました。

なお、当社グループが営むホテル事業は、第1四半期及び第3四半期に宿泊及び宴会需要が強く、売上高が多く計上される傾向があります。しかしながら、2020年度から2022年度は、新型コロナウイルスの世界的な感染の影響により、例年の傾向とは必ずしも一致しない場合があります。

（2）財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べて 2.9%増加し 63,503 百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて 0.1%減少し 34,787 百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて 6.6%増加し 28,716 百万円となりました。これは建設仮勘定の増加などによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて 0.1%減少し 10,622 百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて 9.8%減少し 10,024 百万円となりました。これは建替関連損失引当金を流動負債に振替えたことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて 7.1%増加し 42,856 百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2023年5月11日付「2023年3月期 決算短信[日本基準](連結)」にて発表いたしました、2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2024年1月30日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,329	12,377
売掛金	3,022	3,673
有価証券	18,908	16,807
貯蔵品	778	1,251
その他	773	681
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	34,807	34,787
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	7,547	6,159
建設仮勘定	3,228	6,366
その他 (純額)	3,465	3,394
有形固定資産合計	14,241	15,920
無形固定資産	1,056	1,286
投資その他の資産		
投資有価証券	6,011	5,823
その他	5,625	5,685
投資その他の資産合計	11,637	11,508
固定資産合計	26,935	28,716
資産合計	61,743	63,503
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,106	1,777
未払法人税等	159	69
未払費用	1,645	2,180
前受金	875	727
預り金	2,703	2,115
賞与引当金	885	385
建替関連損失引当金	-	1,311
その他	3,253	2,053
流動負債合計	10,628	10,622
固定負債		
退職給付に係る負債	6,806	6,690
資産除去債務	1,017	1,025
長期預り金	1,510	1,734
建替関連損失引当金	1,326	-
その他	453	574
固定負債合計	11,114	10,024
負債合計	21,743	20,647

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,485	1,485
資本剰余金	1,378	1,378
利益剰余金	36,353	38,909
自己株式	△89	△89
株主資本合計	39,127	41,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	937	1,224
退職給付に係る調整累計額	△64	△50
その他の包括利益累計額合計	872	1,173
純資産合計	40,000	42,856
負債純資産合計	61,743	63,503

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	31,689	39,766
材料費	7,022	8,130
販売費及び一般管理費	24,127	28,612
営業利益	539	3,024
営業外収益		
受取利息	17	19
受取配当金	69	36
受取手数料	117	130
持分法による投資利益	91	47
雇用調整助成金	418	2
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	279	-
その他	91	45
営業外収益合計	1,084	281
営業外費用		
支払手数料	1	2
営業外費用合計	1	2
経常利益	1,623	3,302
特別利益		
建替関連損失引当金戻入額	223	-
その他	2	-
特別利益合計	225	-
税金等調整前四半期純利益	1,848	3,302
法人税、住民税及び事業税	33	21
法人税等調整額	6	14
法人税等合計	39	35
四半期純利益	1,808	3,267
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,808	3,267

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,808	3,267
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30	284
退職給付に係る調整額	112	13
持分法適用会社に対する持分相当額	2	2
その他の包括利益合計	84	301
四半期包括利益	1,893	3,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,893	3,568

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

当社グループでは、ホテル事業(ホテル製品等の販売)において、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、出荷時から当該製品等の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しておりましたが、当第3四半期連結会計期間にホテル製品等の販売に関するシステムの更新を行ったこと等を契機として、製品等を顧客に納品した時点で収益を認識する方法に変更いたしました。

この会計方針の変更による影響は軽微であるため、遡及適用はしていません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ホテル 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,293	2,396	31,689	—	31,689
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7	7	△7	—
計	29,293	2,403	31,696	△7	31,689
セグメント利益	939	1,009	1,948	△1,409	539

- (注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ホテル 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	37,925	1,840	39,766	—	39,766
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7	7	△7	—
計	37,925	1,848	39,774	△7	39,766
セグメント利益	4,152	512	4,664	△1,640	3,024

- (注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。